

2021 年度 地盤品質セミナー

—地盤品質判定士が関わった宅地地盤の変状に関する調査と対策—
(Zoom ウェビナーによるオンラインセミナー)

主催：一般社団法人 地盤品質判定士会
共催：公益社団法人 土木学会 地盤工学委員会
後援：公益社団法人 地盤工学会，
一般社団法人 全国地質調査業協会連合会，
一般社団法人 地盤保証検査協会，
特定非営利活動法人 住宅地盤品質協会，
一般社団法人 日本建築学会，
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会，
公益社団法人 土木学会，
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会，
公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会，
一般社団法人 全国住宅技術品質協会

< セミナー企画趣旨 >

地盤品質判定士の資格制度は、東日本大震災によって発生した住宅や宅地の被害を契機として、住宅及び宅地取得者、宅地造成業者、不動産業者、住宅メーカー、地方自治体など住宅地盤に関わる方々の「**地盤に関する様々な疑問・問題**」に対して、それらを円滑に解決するための相談・助言・提案を行うことを目的とするとともに、宅地における地盤災害の防止や軽減に貢献することも目的として、東日本大震災から2年後の2013年(平成25年)に制定されました。

これに伴い、住宅及び宅地の防災及び国民の安全・安心に貢献するため、会員の技術の研鑽とモラルの向上ならびに社会への啓発を図ることを目的として2015年(平成27年)に地盤品質判定士会が設立されました。

地盤品質判定士会では、設立当初より、①一般市民向けに住宅地盤に関する疑問や不安に対する相談、②地盤の評価に関わる調査・試験の立案、③調査結果に基づく適切な評価と説明及び対策工の立案、④宅地地盤の安全性を高めていくための社会への啓発活動、⑤地盤品質判定士の資質向上・スキルアップのための各種研鑽、⑥災害発生時の被災者への相談対応、災害復旧への提言等による復興への貢献などの活動を実施してきました。

この間には、熊本地震(2016年(平成28年)4月14日、16日)、大阪東部地震(2018年(平成30年)6月18日)、北海道胆振東部地震(2018年(平成30年)9月6日)などが発生しました。地盤品質判定士会は、これらの地震動による地盤災害に対しては、熊本部会、北海道部会を立ち上げて地方自治体への協力や一般市民の相談に対応しました。また、広く各種住宅地盤災害に対処するため、ニーズの多い地域に神奈川支部、関西支部、中部支部を設置することにより、住民支援のための相談や地方自治体への支援などを行ってきました。現在は、中国支部、東北支部の立ち上げ準備をしています。

また、地盤品質判定士は、2018年(平成30年)2月27日付で国土交通省の「**平成29年度公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格**」のうち、「**宅地防災**」の施設分野で認定・登録され、国及び地方公共団体が発注する宅地防災に関わる業務において、管理技術者・照査技術者を担当することのできる資格となったことから、社会で幅広く活躍することが期待されています。

近年、地震や豪雨による宅地災害、土砂崩れ災害などのリスクの高まりを受け、地方自治体等からの住民支援やフォローアップ支援の協力要請も増えてきており、地盤品質判定士の活動範囲も広がってきました。これらをさらに積極的、精力的に進めるために、2020年(令和2年)4月1日に**一般社団法人地盤品質判定士会**として、法人登記を行いました。この法人化によって、地方自治体等との宅地防災に関わる更なる連携が期待され、相談会やセミナーを通じた地盤品質や住宅災害・地震災害などに関わる幅広い活動をこれまで以上に効率的かつ効果的に進めていくこととなります。

今年度のセミナーは、2012年度から数えて10回目の開催となります。本セミナーは、2019年9月～2021年8月の2年間に判定士会のホームページ等に寄せられた宅地地盤の100件の相談において、宅地購入予定、セカンドオピニオンなどの相談の他、擁壁の変状、崖・斜面の崩壊、不同沈下、陥没、地震動災害など宅地地盤の変状に関する一般市民からの相談が増えていること、地盤に起因する建築紛争（言い換えれば宅地地盤の変状に関する紛争）などに地盤品質判定士の関わるが増えていることに鑑み、宅地地盤の変状に関する調査と対策についての現状を宅地地盤に関わる建築士や建築関係の技術者、土木系の技術者の方々のみにとどまらず不動産鑑定士、弁護士の方々などに広く知っていただくことを目的としております。

そこで、本セミナーでは(一社)地盤品質判定士会を主催とし、「2021年度地盤品質セミナー」《地盤品質判定士が関わった宅地地盤の変状に関する調査と対策》と題して、宅地地盤に関わる建築士、建築関係の技術者、土木系の技術者、不動産鑑定士、弁護士などの方々の知見向上及び地盤品質判定士の更なる活動へとつなげるセミナーを企画しました。また、これらの活動実績を踏まえて判定士の役割を考えることなどについて報告していただき、地盤品質判定士及び判定士会の更なる活動へとつなげるセミナーにしたいと思っております。

そして、宅地地盤の変状・対策に関するQ&Aを行いますので是非「2021年度地盤品質セミナー」への参加をお願いします。

< セミナープログラム (案) >

本セミナーは Zoom ウェビナーによるオンラインでのセミナー配信ですので、勤務先もしくは自宅からの聴講となります。奮って御参加下さい。

G-CPD ポイント：6

日 時：令和 4年 1月 29日(土) 9:00～17:00

会 費：会員 7,000 円（消費税を含む）

配布資料：本セミナーのために講師の方が作成する説明資料を pdf で提供します。

定 員：制限なし

内容・講師：

	内 容 (案)	時 間	講 師 (候補案)
1	開会の挨拶	9:00～ 9:10	北詰昌樹 【一般社団法人地盤品質判定士会 理事長】
2	話題提供(1) 宅地地盤の変状と調査・対策 ・住宅の不同沈下について ・戸建て住宅の不同沈下対策 ・宅地擁壁の変状と点検・調査 ・不安定斜面の対策	9:10～ 9:50	内山 雅紀 【地盤品質判定士/ジャパンホームシールド(株)】
		9:50～10:30	大和 眞一 【技術士 工学博士/日本住宅保証検査機構 顧問】
		10:30～11:10	西村 真二 【地盤品質判定士/(株)UR リンケージ】
		11:10～11:50	高橋 一紀 【地盤品質判定士/(株)カナコン】
	昼休み (60分)	11:50～12:50	
3	キーノートレクチャー ・宅地防災を踏まえた安全な宅地選びと宅地対策 ・人の住処と自然災害	12:50～13:30	橋本 隆雄 【地盤品質判定士/国士館大学教授】
		13:30～14:10	東畑 郁生 【東京大学名誉教授/関東学院大学】
	休憩 (5分)	14:10～14:15	
4	話題提供(2) 宅地地盤の変状と相談事例 ・首都圏における宅地地盤の変状と相談事例 ・関西圏における宅地地盤の変状と相談・紛争事例 ・地盤に起因する建築紛争について -地盤品質判定士への期待-	14:15～14:55	立花 秀夫 【地盤品質判定士/(一社)地盤品質判定士会 神奈川支部長】
		14:55～15:35	諏訪 靖二 【地盤品質判定士/(一社)地盤品質判定士会幹事】
		15:35～16:15	高木 秀治 【弁護士/プラス法律事務所】
	休憩 (5分)	16:15～16:20	

5	Q & A コーナー メインテーマ：宅地地盤の変状に関する 調査と対策	16:20～16:50	司会進行 原 勝重 【(一社)地盤品質判定士会 副幹事長兼技術委員長】
6	開会の挨拶	16:50～17:00	岡村 未対 【公益社団法人 土木学会地盤工学会委員会 委員長】

【注】講師，内容，講義時間等は，各種事情により変更させていただく場合があります。

本セミナーは、Zoom ウェビナーによるオンラインで行います。聴講者は、Zoom が利用できるインターネット環境と PC 等をご自分で準備して参加していただきます。

講演会参加申込方法：地盤品質判定士会ホームページ (<https://hanteishi.org/post-3502>) の申込書 (Excel 形式) をダウンロードして必要事項を記載し、参加費を振込後に Excel データのまま、送信願います。

セミナー参加申込み方法：下記のメールアドレス宛に必要な事項を記入し、送信して下さい。
地盤品質判定士会講習会係 E-mail : kosyukai★hanteishi.org 注：★を@に置換して下さい。

申込必要事項：①氏名，②聴講予定場所の都道府県名と（自宅・勤務先の別），③地盤品質判定士の方は資格番号，④勤務先のある方は勤務先名，⑤メールアドレス，⑥日中連絡が取れる連絡先（電話番号（携帯可）），⑦所属団体名，⑧CPD の要否（地盤工学会員の方は会員番号）

申込み締め切り日：令和 4 年 1 月 21 日(金) ※開催日の 1 週間前

参加費納付方法：参加申込書の Excel ファイル内に銀行振込指定口座が記載されていますので、1/21（金）までに納付して下さい。なお、振込手数料は参加者のご負担でお願い致します。

その他留意事項：

- ・申込受付後、なるべく早い段階で受理メールを返信いたします。また、開催日 4 日前 (1/25(火)) 頃に講演資料 (pdf) のダウンロード方法と【ZOOM 入室用の URL, ID, パスワード等】をメールにてお知らせする予定です。
- ・参加前に Zoom が接続可能な環境をご準備ください。

以上